

商用車アセスメントについて

令和7年12月17日
国土交通省物流局・自動車局
技術・環境政策課

【検討状況】

- 商用車に対する安全性能の評価については、令和6年度第3回自動車アセスメント評価検討会にて、自動車アセスメント・ロードマップ2025への記載を提案し、承認された。
- 2025年度は、「商用車アセスメント導入効果検証タスクフォース」（以下「TF」という。）を設置し、商用車アセスメント導入に向けた検討を開始。

第1回（6/11）：Euro NCAPにおける評価実施状況の調査結果共有、運送事業者ヒアリング項目の検討

第2回（7/29）：運送事業者ヒアリング結果の共有、運送事業者アンケート項目検討、事故分析項目の検討、大型車AEBS作動性能試験の結果共有

第3回（12/1）：運送事業者アンケート結果の共有、商用車アセスメントの方向性の検討、商用車アセスメントWG（仮称）設置の検討

【（参考）自動車アセスメント・ロードマップ改訂案（令和6年度第3回自動車アセスメント評価検討会 資料4）】

商用車に対する評価の導入

追加

- 商用車は、ひとたび事故が発生すれば、その加害性の高さから被害が甚大になるおそれがある。
- 昨今、衝突被害軽減ブレーキ等の予防安全技術の導入が進みつつあるが、各社の装置の性能には違いがある。
- 欧州においては、商用車のうちトラック及びバンがEURO NCAPの対象となった。
- より安全な商用車の普及を促すため、商用車に対する自動車アセスメントの導入に係る検討を開始する。

				2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
より安全な商用車の普及対策	予防安全性能評価	新規追加	・衝突被害軽減ブレーキ ・車線逸脱抑制装置 ・ドライバー異常時対応システム 等		導入効果検証	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験		

【商用車アセスメントの方向性（案）】

- 自動車アセスメント・ロードマップ2025に基づき、令和12年度の評価開始を目指す。
- 開始当初は総合評価は行わず予防安全性能を対象とし、機能別に評価を実施することとする。

【今後の進め方】

- TFにおいて、事故分析の結果等を踏まえて、商用車アセスメントの方向性の具体化に向け検討を継続し、令和7年度中にとりまとめを行う。
- 令和8年度より、TFを発展解消の上、WGを新設し、以降はWGにおいて調査・研究等を継続する。